二等無人航空機(初学者)

各項目時間は学科10h、実技基本10h+1h、限定変更目視内2h+1h、限定変更昼間1h+1h

	講習科目	講習内容	時間
1 2	無人航空機操縦者の心得 無人航空機に関する規則	一 航空法全般二 航空法以外の法令等イ 小型無人機等飛行禁止法ロ 電波法ハ その他の法令等二 飛行自粛要請空域	3.5時間
3	無人航空機のシステム	無人航空機の機体の特徴(種類及び飛行方法)飛行原理と飛行性能機体の構成機体以外の要素技術機体の整備、点検、保管、交換、破棄	3時間
4	無人航空機の操縦者及び運航体制	一 操縦者の行動規範及び厳守事項二 操縦者に求められる操縦知識三 操縦者のパフォーマンス四 安全な運航のための意思決定体制 (CRM (Crew ResourceManagement) 等の理解)	2時間
5	運航上のリスク管理	運航リスクの評価及び最適な運航計画の立案の基礎二 気象の基礎知識、気象情報を基にしたリスク評価及び運航計画の立案三 機体の種類に応じた運航リスクの評価及び最適な運航計画の立案四 飛行の方法に応じた運航リスクの評価及び最適な運航計画の立案	1時間30分
	基本(限定変更なし)	1. 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3. 機体の状況、操縦モードバッテリーの確認	1時間
		4. フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定	1時間
		5. 基本操縦(手動)	3時間
		8. 様々な運航形態への対応	4 時間
		9. 安全に関わる操作 10. 緊急時の対応 11. 飛行後の記録、報告	1時間
	日祖中四宗亦声	1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定5 基本操縦(手動)	1時間
	目視内限定変更	6 基本操縦(自動)7 基本操作以外の操作8 様々な運航形態への対応10 緊急時の対応	1時間
	昼間限定変更	 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 基本操縦(手動) 様々な運航形態への対応 緊急時の対応 	1時間

赤 学科

青 実技

Japan Drone College

講習時間割表

二等無人航空機操縦士(初学者)1日目

時限	時間	科目
1	8:00~9:00	1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認
2	9:10~10:40	5 基本操縦(手動)
3	10:50~12:20	5 基本操縦(手動)
	12:20~13:20	昼休憩
4	13:20~14:50	8 様々な運航形態への対応
5	15:00~16:30	8 様々な運航形態への対応
6	16:40~17:40	8 様々な運航形態への対応
7	17:50~18:50	4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定

- ※座学はeラーニング(10時間)にて学習お願いいたします。
- 1 無人航空機操縦者の心構え
- 2 無人航空機に関する規則
- 3 無人航空機のシステム
- 4 無人航空機の操縦者及び運航体制
- 5 運航上のリスク管理
- (※修了テスト含む)
- ※受講生の技量、習熟に応じて操縦訓練を延長することがあります。

Japan Drone College

講習時間割表

二等無人航空機操縦士(初学者)2日目

時限	時間	科目
1	8:00~9:00	9 安全に関わる操作 10 緊急時の対応 11 飛行後の記憶、報告
2	9:10~10:10	修了審査
3	10:20~11:20	 1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認 4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 5 基本操縦(手動)
4	11:30~12:30	6 基本操縦(自動) 7 基本操作以外の操作 8 様々な運航形態への対応 10 緊急時の対応 目視内限定変更
	12:30~13:30	昼休憩
5	13:30~14:30	修了審査
6	14:40~15:40	 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定、自動飛行の設定 基本操縦(手動) 様々な運航形態への対応 緊急時の対応 昼間飛行限定変更
7	15:50~16:50	修了審査

【修了審査】

- ・机上試験
- ・口述試験(飛行前点検)
- ・口述試験(飛行後の点検及び記録)
- ・口述試験(事故、重大インシデントの報告及びその対応)
- ・実技試験